

【補足資料】 2006年度中間決算



2006年11月14日

ITX 株式会社

1

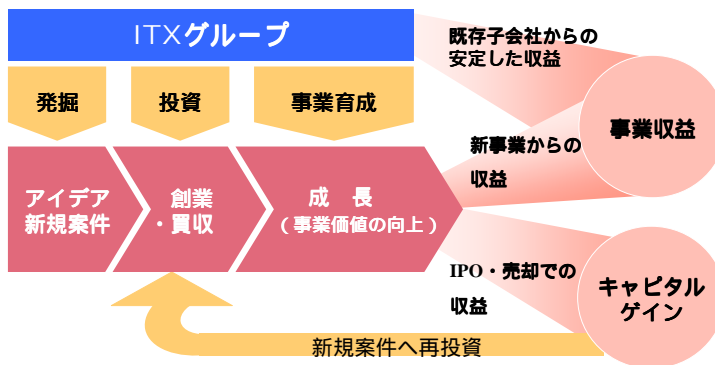
【目次】

1. ビジネスモデル	3
事業育成	4
ITXのキャピタルゲインとは	5
事業育成とビジネスモデルの特長	6
ITXグループ各社の事業領域	7
2. データ	8
セグメント 2005年度中間期実績 & 2006年度中間期実績	9
主要子会社 2005年度中間期実績 & 2006年度中間期実績	10
セグメント 2005年度通期実績 & 2006年度通期見通し	11
主要子会社 2005年度通期実績 & 2006年度通期見通し	12
2006年度中間期 概況(連結)	13
2005年度中間期 概況(単体)	14
直近の投資実績	15 - 16
投資残高	17

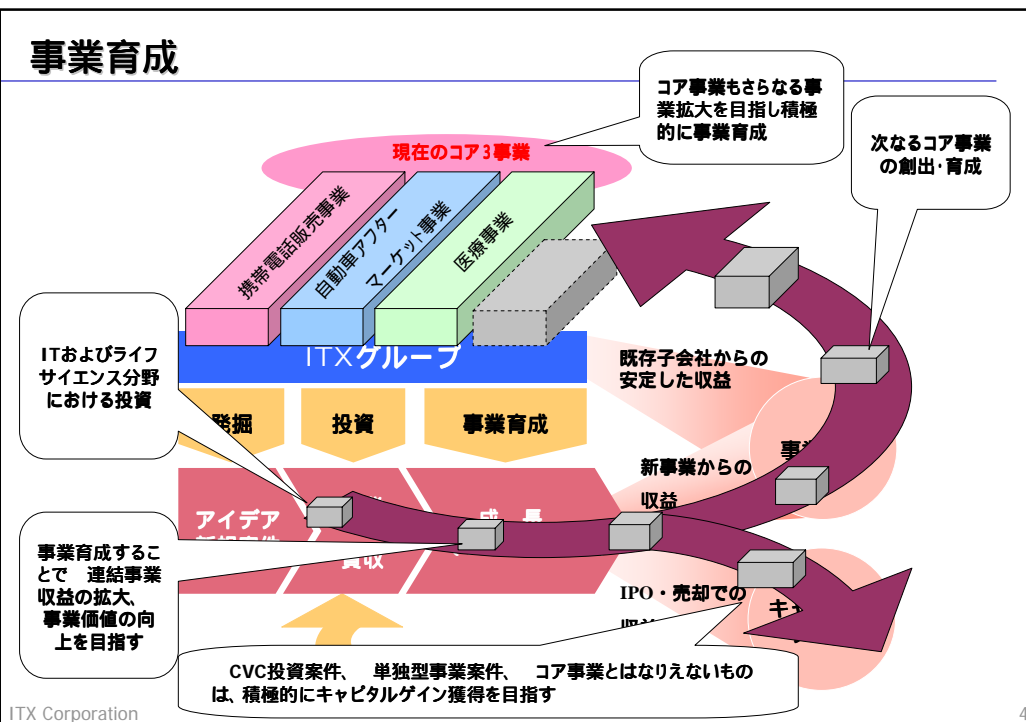
ITXグループとは

投資を通じた事業価値創造を目的として、投資先会社を主体的に経営し、
連結子会社の安定的な事業収益を獲るとともに、
上場を実現させキャピタルゲインを獲得する

ビジネスモデルサイクル



事業育成



キャピタルゲインとは

ITXの「キャピタルゲイン」とは

投資育成株式(投資育成関係会社株式、投資育成有価証券)を売却した際の
キャピタルゲイン

売却額を売上高、取得簿価を売上原価に計上

投資有価証券を売却した際のキャピタルゲイン

売却損益を営業外損益に計上

関係会社株式を売却した際のキャピタルゲイン

売却損益を特別損益に計上

これらに、株式評価損益を加えたものを

「Exit Net損益」

事業育成とビジネスモデルの特長

投資と事業育成のスタイル

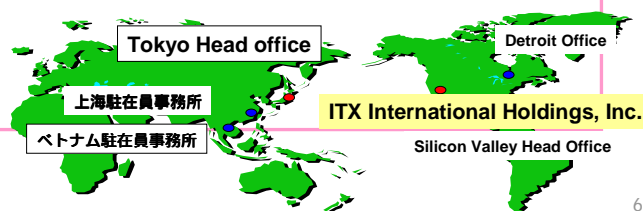
連結する会社の事業収益とキャピタルゲインが収益の両輪

「事業育成」によるビジネスの現場に軸足を置いた事業性を見極める視点での投資とExit

高い出資比率で、積極的に事業主体となり、ハンズオンスタイルで事業育成(役員・人員の派遣、営業支援、マーケティング支援、など)することで1件1件の成功確率を高める投資が多い(日本型ベンチャーキャピタル「出資比率の低い投資を、件数多く」)

海外拠点、グループ会社、商社時代からのビジネスネットワーク、戦略的パートナーである株主などの様々なアセットの活用

ITX(日本)	
ITX International Holdings (米国)	12名
上海事務所	4名
ベトナム事務所 (ハノイ・ホーチミン)	9名



セグメント 2005年度中間期実績 & 2006年度中間期実績 (単位：億円)

	ライフサイエンス		ネットワーク&テクノロジー		モバイル		ビジネスイノベーション		消去または全社		合計	
	05年度中間期	06年度中間期	05年度中間期	06年度中間期	05年度中間期	06年度中間期	05年度中間期	06年度中間期	05年度中間期	06年度中間期	05年度中間期	06年度中間期
売上 (投資育成) (機器販売・サービス)	202 (10) (192)	220 (0) (220)	602 (26) (576)	230 (4) (225)	950 (-) (950)	1,000 (-) (1,000)	87 (-) (87)	85 (0) (84)	4 (-) (4)	- (-) (-)	1,837 (36) (1,802)	1,535 (5) (1,529)
売上総利益 (投資育成) (投資評価損) (機器販売・サービス)	39 (8) (-) (31)	31 (0) (1) (32)	61 (24) (0) (38)	81 (2) (0) (79)	96 (-) (-) (96)	100 (-) (-) (100)	18 (-) (1) (19)	15 (0) (1) (16)	0 (-) (-) (0)	- (-) (-) (-)	214 (32) (2) (184)	227 (2) (2) (227)
販売管理費 (投資育成) (機器販売・サービス)	27 (1) (26)	32 (1) (31)	39 (2) (36)	76 (1) (75)	103 (0) (103)	98 (0) (98)	21 (1) (20)	19 (1) (19)	6 (3) (3)	6 (3) (3)	196 (7) (189)	230 (5) (225)
営業利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	12 (7) (5)	0 (1) (1)	23 (21) (2)	5 (1) (5)	7 (0) (7)	1 (0) (1)	3 (2) (1)	5 (2) (3)	7 (3) (3)	6 (3) (3)	18 (23) (5)	4 (5) (2)

単体の販管費は投資育成と機器販売・サービスに50%ずつ配分

主要子会社 2005年度中間期 & 2006年度中間期実績 (単位：億円)

06年度中間期実績	単体	ITテレコム	KSオムパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	3	988	175	83	85
営業利益	19	14	5	5	1
経常利益	16	14	5	4	0
中間純利益	29	5	3	7	0

05年度中間期実績	単体	ITテレコム	KSオムパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	451	940	150		66
営業利益	6	3	5		1
経常利益	14	2	5		1
中間純利益	8	1	3		1

前年同期比	単体	ITテレコム	KSオムパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	448	48	25		19
営業利益	13	11	0		0
経常利益	2	12	0		1
中間純利益	37	4	0		1

表中社名は一部略称使用。ITX-EG=ITXイー・グローバルレッジ、ITテレコム=アイ・ティー・テレコム

セグメント 2005年度通期実績 & 2006年度通期見通し

(単位：億円)

	ライフサイエンス		ネットワーク&テクノロジー		モバイル		ビジネスイノベーション		消去又は全社		合計	
	05年度実績	06年度見通し	05年度実績	06年度見通し	05年度実績	06年度見通し	05年度実績	06年度見通し	05年度実績	06年度見通し	05年度実績	06年度見通し
売上高 (投資育成) (機器販売・サービス)	(400)	(441)	(808)	(495)	(2,043)	(2,169)	(163)	(157)	(59)	(129)	3,469 (59) (3,410)	3,391 (129) (3,262)
売上総利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	(61)	(67)	(66)	(162)	(202)	(214)	(40)	(36)	(42)	(54)	411 (42) (369)	533 (54) (479)
販売管理費 (投資育成) (機器販売・サービス)	(54)	(61)	(63)	(153)	(203)	(200)	(42)	(41)	(13) (6)	(11) (6)	382 (13) (369)	473 (11) (462)
営業利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	(7)	(6)	(3)	(9)	(1)	(14)	(2)	(5)	(29) (6)	(43) (6)	29 (29) (0)	60 (43) (17)

単体の販管費は投資育成と機器販売・サービスに50%ずつ配分
投資育成関連の数値に関しては、各セグメントの合計数値を全社の欄に合計して表記しております。

主要子会社 2005年度通期 & 2006年度通期見通し

(単位：億円)

06年度 通期見通し	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	127	2,141	339	165	201
営業利益	34	34	11	8	5
経常利益	35	33	11	7	3
当期純利益	29	16	6	8	1

05年度 通期実績	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	560	2,021	307		140
営業利益	25	18	10		2
経常利益	21	17	11		2
当期純利益	6	10	6		1

前期比	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ブロードリーフ	ITX-EG
売上高	433	120	32		61
営業利益	59	16	1		3
経常利益	56	16	0		1
当期純利益	23	6	0		0

表中社名は一部略称使用。ITX-EG=ITXイー・グローバレッジ、ITテレコム=アイ・ティー・テレコム

2006年度中間期 概況

◆ 連結バランスシート (2006年3月末比)

- ◆ **総資産 52億円の減少**
 - 現預金の増加+46億円
(単体+28億円、ブロードリーフ+26億円等)
 - 受取手形及び売掛金の減少 42億円
(ITテレコム 71億円、ブロードリーフ+17億円、KSオリンパス+11億円等)
 - 有価証券・その他流動資産の減少 29億円
(単体:政府保証債の償還 12億円等)
 - 投資有価証券の減少 19億円
(USEN株式 20億円等)

- ◆ **有利子負債 短期有利子負債 165億円
長期有利子負債 + 162億円**
 - 短期借入から長期借入へ借換え実施

2006年度中間期 概況

◆ 単体バランスシート (2006年3月末比)

- ◆ **総資産 16億円の減少**
 - 流動資産+18億円
(現預金+28億円、有価証券 12億円、短期貸付+26億円、
その他流動資産 24億円)
 - 固定資産 34億円
(投資有価証券 14億円、長期貸付金 21億円等)

- ◆ **有利子負債 短期有利子負債 128億円
長期有利子負債 + 154億円**
 - 短期借入から長期借入へ借換え及び長期運転資金調達

当中間期の主要な新規投資実績

(ITX及び国内ファンドより)

2006年4月1日～9月30日

	セグメント	金額 (百万円)	ITX出 資比率	事業内容
ジャパンマーケットインテリジェンス株式会社	ビジネス イノベーション	746	52.96%	市場調査及び関連コンサルティング
株式会社RiStream	ビジネス イノベーション	150	5.25%	デジタル・アナログ地上波受信用シリコンチューナーの専業メーカー
株式会社モバイルテクニカ	ビジネス イノベーション	100	6.29%	サーバー統合型超小型IP-POX等の開発・販売
株式会社デントハウス (新株予約権付社債)	ビジネス イノベーション	100	-	不動産分譲販売
シエラ株式会社	ビジネス イノベーション	76	4.53%	携帯電話に特化したメール配信エンジンの開発・販売
賃貸住宅トータルサポート株式会社	ビジネス イノベーション	60	6.11%	賃貸住宅の貸し手、借り手双方へのサービス「リーシングマネージメント」の提供
株式会社ネオブラッド (新株予約権付社債含む)	ビジネス イノベーション	50	14.29%	URLデータベースの収集・供給を年間ライセンス方式でサービス提供
イストラテジー株式会社 (新株予約権付社債)	ビジネス イノベーション	49	-	製造業の設計部門向けナレッジマネジメントシステムの開発・提供・カスタマイズ
エンブレックス株式会社	ビジネス イノベーション	45	1.25%	CRMパッケージソフトの開発・販売・導入等
株式会社アートポート	ビジネス イノベーション	30	0.77%	映像コンテンツ制作・配給・2次利用コンテンツの流通販売

直近の投資実績

(海外投資子会社より)

2006年1月1日～9月30日

	セグメント	金額 (百万円)	出資 比率	事業内容
ImaRx Therapeutics, Inc.	ライフサイエンス	345	0.40%	ナノバブルを使用した血栓溶解剤及び脳梗塞治療薬の開発
Ambarella, Inc.	ネットワーク & テクノロジー	115	1.07%	次世代民生用デジタルメディア製品向け画像処理チップの開発
Rubicor	ライフサイエンス	589	7.76%	経皮的乳房全病変摘出デバイスの開発・販売
Fluid Medical, Inc.	ライフサイエンス	235	26.56%	血管内超音波カテーテルの製造・開発
Heart Leaflet Technologies	ライフサイエンス	58	-	経皮的大動脈弁置換術用カテーテルの開発

(国内ファンドより)

2006年1月1日～9月30日

	セグメント	金額 (百万円)	出資 比率	事業内容
株式会社ウェブアイ	ビジネス イノ ベーション	254	61.79%	工程管理 (EMP) に関するソフトウェアの開発・販売及びコンサルティング業務
株式会社アイカル	ビジネス イノ ベーション	147	45.99%	多次元データベースエンジン及びパッケージソフトウェアの開発・販売
株式会社コンカドーロ	ビジネス イノ ベーション	119	8.50%	イタリア料理レストラン
株式会社ベンチャーウェーブ	ビジネス イノ ベーション	1	5.20%	画像圧縮ソフトウェア開発

投資残高

06年9月末日現在

勘定区分	投資合計		ITX単体		米国投資子会社	
	残高(億円)	社数	残高(億円)	社数	残高(億円)	社数
関係会社	501	14	501	14	-	-
投資育成関係会社	248	21	245	19	3	2
投資育成有価証券	80	48	67	36	13	12
投資有価証券	41	47	34	40	7	7
投資育成関係会社社債	1	-	1	-	-	-
合計	871	130	848	109	23	21

セグメント	投資合計		ITX単体		米国投資子会社	
	残高(億円)	社数	残高(億円)	社数	残高(億円)	社数
ライフサイエンス	69	28	48	15	21	13
ネットワーク&テクノロジー	311	48	309	40	2	8
モバイル	411	2	411	2	-	-
ビジネスイノベーション	65	50	65	50	-	-
全社	15	2	15	2	-	-
合計	871	130	848	109	23	21